

# コミュニティバス改善に向けた意見交換会（二子地区）

2010年11月19日 13:30～ 二子地区交流センター

## 前回5月の地域公共交通意見交換会の 簡単な説明と現状分析の報告

- ・平成21年度に県立中部病院が開業されたことにあたってルートが変わりました。
  - ・1年間運行してみて思ったより利用者が伸びてない。
  - ・中部病院に直接つないだことによってどうしても経費がかかった。
  - ・全体に経費にかかる運賃収支率3割にも満たない。
- 5月から11月までの間 市とNPOと事業者と検討を続け、利便性を考えいろいろ調査して継続していくというもとで、調査結果と改善案になります -

### 乗降調査結果

(実施日:2010年7月12日～16日 4日間)

二子の乗降が多かったところ = 臥牛、大橋、宿内、大門。

中部病院(週4日運行)は乗車13人、降車4人、計17人と一定程度は乗っていても病院があるわりにはそんなに乗ってないなという結果。

実際に東の方から西の方まで乗るという利用は全体の3%程度で、地域計画要望で中部病院を繋いで欲しいといっても、乗降人数はいない。中部病院の利用は予約の人が6割以上の為、中部病院というよりは身近なかかりつけ医に行っているようです。

朝の一番から中部病院で降りて、飯豊の奥まで行く人はなかなかいないということで改善案を含まれています。

### 地域から乗る人はどこへ行くのか？

二子の方は、黒沢尻がほとんど。東側地域の人はまちなか、黒沢尻の利用がほとんど。

### よく使われる時間帯

まちなかに向かう1便と2便が44%。ダイヤについてその辺も配慮しています。

### 利用者の特性

二子では女性が9割と多い状況。割合、年齢的にも上の人が多い。更木の20歳未満の28%というのは、スクールバスとしても週2日使われていますので特殊な傾向が出ています。

### 利用目的

全体的な傾向ですが通院が5割、買い物が4割、合わせて9割くらい。そういった意味では、日常のとしての利用が多い。

### 利用頻度

二子は、週に1回という方が4割。月1～3回に1回という方が4割近く。月に1回は少なくともまちなかに行っている状況。

### バス停から自宅までの距離

5分以内で5割。5～10分も合わせると7割くらい。バス停から近いと利用はしやすいのかなと思います。

### 収支予測

21年度の実績収支率28%。3割しかない収入を市役所としては5割に進めていきたいと考えています。

### 改善案(素案)

運輸局への手続きが2ヵ月前に必要な為、

1月末に運行方針を決定したいと思います。

- ・幹線的区間（中部病院～黒沢尻2丁目、週4日運行）と支線区間（その他、週2日運行）に分ける
- ・運行は2ルートとし原則曜日変更なし  
飯豊立花黒岩線：月、木曜日  
二子更木線：火、金曜日
- ・同一ゾーン内での利用を100円から50円引き上げて150円へ。
- ・街なかのまわり方の変更 立花黒岩線 珊瑚橋～日高見～ロックタウンを經由する（4km延長）

### 意見交換

説明が終わり、意見交換の時間には以下の意見が出されました。

村崎野駅から上野町の方に向かって神社の所から、高屋に行けば乗りたい人がいっぱいいると思う。

その道は、一般の路線バスが走っているのでコミュニティバスは走れない。

コミュニティバスは、元々バスが運行され廃止になった所を走っている。

ジャスコで降りる人が多い。

大内眼科に通っているが、コミュニティバスで行くとき、降りるバス停は？

図書館前が近い。

まゆみ皮膚科はどこで降りればいいのか。白百合橋が近い。

どこになにがあるか分かるものを皆さんに配り、コミュニティバスで色々な所に行けるということを知らせていきたい。

家にばかりいるので、コミュニティバスの日はバスを使って街に行きたい。

病院などに行く時、行きは家族帰りはコ

ミュニティバスを使う。

今は農作業などで忙しく乗る人は少ないが、冬は乗る人が増えると思う。

岡島、オの羽々、山岸はほとんど乗らない。

運転手によって態度が違い、怖いと思う時もあった。

